

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栃木ケアーズの基本理念・行動理念等冊子にして、職員一人ひとりに渡し、共有し、実践に繋がるように活用している。新しい職員を対象に内部研修をしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	平井町の行事やシルバー大学・ボランティアを招いてのイベントで地域との交流を深めている。地域の学生の慰問や実習も受け入れている。コロナ禍により現在は自粛している。	コロナ禍において地域交流はあまり出ていないという事はやむを得ない。 コロナ感染拡大状況を見ながら、出来る範囲内で行事を行なうなどの交流を図っていく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の取り組みや利用者の状況報告、会議のテーマを決め、家族・自治会・地域包括・利用者・職員などで意見交換をし、事業に反映させている。コロナ禍で会議は行わず書面でしたが、今年度5月より定期的実施している。	今後もコロナの感染拡大状況に応じて運営推進会議を開催し、意見交換や情報共有が図れる場を設けて頂けて行く。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に地域包括の方を呼び、取り組みを伝えながら、協力関係を築いている。	地域包括の方は他の事業所の事を良く見聞していると思うので運営推進会議の場で発言して頂き、また自治体と連携をして行く事は重要であり安心感が高まりますので、今後においても積極的に実施を行なっていく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安全管理委員会が身体拘束適正化委員会を年4回開催している。内部研修も行い、拘束をしない支援を目指すように知識を学び、身体拘束の体験を行い、各自の気付きをケアに活かしている。		A. 充分にできている 3 B. ほぼできている 9 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 未回答	・委員会や研修を通じて職員が適正なケアを理解して支援が行われていると思う。 ・実際に拘束しないで見守るケアをしています。有難いです。 ・快適に過ごせていて満足しています。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修に参加することで学ぶ機会があります。また施設の接遇マニュアルを使い、振り返りを行い実践する様にしている。利用者の支援も職員が抱え込まないように、適時に支援を検討し対応している。		A. 充分にできている 10 B. ほぼできている 2 C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 未回答	・研修を通じて職員が適正なケアを理解して支援が行われていると思う。 ・職員が一人で抱え込まない様に、様々な工夫が見られる。 ・研修やマニュアルで振り返りを行い虐待防止に努めることが出来ている。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	制度について学ぶことや活用が出来る様に、関係する本や資料、研修内容の情報を休憩室に置いている。研修情報も掲示している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアマネが契約に関しては、利用者や家族に説明を行い、理解や納得が得られるようにしている。改正等は運営推進会議での報告や書面にて説明を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の際に家族等の意見や要望を引き出す機会を作り、職員や外部者に伝えている。コロナ感染について、利用者や家族は心配されていたので、施設の状況や対策を発信している。		A. 充分にできている 12 B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 未回答	・勢力的に発信されている ・地域運営推進会議議事録を送付して頂き、とても役に立っている。 ・運営推進会議内でも家族から細やかな情報発信があり、また対応に感謝する事の発言が多く、いつも適切に対応していると思う。 ・利用者の状況を毎月家族へ詳細かつ丁寧に報告している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回のケース会議や委員会の会議が意見交換の場となっている。日常も聞く機会を設け反映している。委員会は活動を実施している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	資格手当や残業手当、休出手当でやりがいを持ってもらえる様に、掲示板に研修や資格等の紹介を行って、向上心を持てる様に働きかけている。また、職員に合わせた勤務時間や環境の整備に努めている。		A. 充分にできている 2 B. ほぼできている 7 C. あまりできていない D. ほとんどできていない 未回答 3	・研修受講機会が設けられており、職員がスキルアップを図れる環境が出来ていると思う。 ・モチベーション向上の取り組みを今後においても期待したい。 ・責任者、介護士共に見る限りすべてに行き届いていると思う。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掲示板に社内外の研修を貼り、希望する研修を受けさせている。また職場での立場や経験、実績などを考えながら、一人ひとりに合った研修を進めている。委員会では、外部講習の参加声掛けや内部研修を行いトレーニングしている。		A. 充分にできている 7 B. ほぼできている 1 C. あまりできていない D. ほとんどできていない 未回答 4	・有資格者が多く、今後の取り組みを期待している。 ・研修受講機会が設けられており、職員がスキルアップを図れる環境が出来ていると思う。 ・経験、実績に合った研修への参加をすすめ、社内での研修も充実されていると思う。 ・認知症についての研修及び講習などに参加している事を確認しています。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	研修に参加することで、同業者とのネットワークが持てている。グループホーム協会での勉強会も参加出来る。法人内は管理者やケアマネジャーは情報交換を行っている。併設の小規模多機能の連携により、サービスの質は向上している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	レクリエーションやお手伝いなど好きな事や出来る事を見つけて、一人ひとりにあう役割を一緒にやっている。人生の先輩として教えて頂いたり、色々な話をしながら笑い合えるような関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家族とお墓参りやかかりつけの美容室やに行くなどの外出支援を行っている。家族、親族、友人の面会はコミュニケーションの橋渡しを行い貴重な時間を過ごす様に支援している。施設の花見ドライブは馴染みの場所に出掛けている。	コロナ禍の為、密にならない外出支援を行ったり、本人や家族にとって必要最低限の事は関係が途切れない様に努める。また本人は家族に施設での生活の様子など伝えることが難しいので、面会時は職員が橋渡しをしながら写真や話で家族に伝え、貴重な時間を過ごしてもらえる様に今後も対応して行く。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ケアマネジャーが本人や家族に暮らし方の希望や意向聞き介護計画書に反映させて。日常的にもコミュニケーションを図り、本人の意向を引き出して沿えるように支援している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ケアマネが本人と家族の意向を聞き、アセスメントを行い、介護計画書とサービス内容を立案。担当者会議を設け、検討し介護計画書を作成している。ケース会議で居室担当者が中心にモニタリングと現状の課題を検討し支援に入れている。看護師は医療面の調整を行っている。	一連のプロセスが十分に機能していて、適切な支援が来ている。今後も継続していく。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない ☐ E. 未回答	11 1 ・細やかな対応が出来ていると思う。 ・ケアマネから介護計画書の充分な説明を受けとても安心している。 ・介護計画もケアマネ任せではなく、スタッフも加わった形で意見を出していくのはとても重要だと思う。 ・担当者会議を設け、チームで意見交換を行うことが出来ていると思う。 ・家族の意向に沿った介護計画書を作成している。 ・常に本人の事を考えてくれて対応してもらい、助かると思いました。 ・今後も勢力的にお願いしたい。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ひとりの一日の支援内容は日課計画表があり、実践や結果は日課実績表に記入している。連絡帳や業務日誌も使い、利用者の変化等の情報を共有している。ケース会議でモニタリングも行い、介護計画書の見直しに活かしている。		☒ A. 充分にできている 11 ☐ B. ほぼできている 1 ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない ☐ E. 未回答	・細やかな対応が出来ていると思う。 ・一人ひとりに対して日課実績表を作り支援内容が共有されている。日々の記録も共有されており、実践や計画の見直しに活かされていると思う。 ・今後も勢力的にお願いしたい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	耐圧分散マットレス、簡易トイレ、車いすなどニーズに合わせて福祉用具を用意している。食事でも柔らかい食やムース食、補助食品など対応している。終末期の際、家族が泊まれるように簡易ベッドがある。コロナ禍でも家族の会いたい気持ちに沿えるように対応している。	個々のニーズに対応出来る体制が出来ている。また終末期に家族が泊まることも出来るなど、家族の気持ちに寄り添う対応が行えている。今後も継続していく。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	シルバー大学、地域ボランティア、地域の学校の慰問がある。平井町の夏の祭りや子供たちのラジオ体操の場所を提供する事で参加出来る環境を作っている。コロナ禍で自粛もあるが、訪問カットやドライブなど出来ることで暮らしを楽しむ支援をしている。	コロナ禍においてあまり出来ていないという事であるが、対応可能な事を最大限に対応していると感じる。コロナが落ち着いたら地域との交流を積極的に支援をして行く。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	訪問診療が月2回、また必要時に対応している。主治医は治療に関して家族の意向を聞きながら対応。24時間連絡がとれる体制である。コロナの検査等も迅速に対応している。訪問歯科診療は状態に応じて月1回から4回定時受診がある。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ケアマネジャーが家族や病院関係者と連絡を取るなどの関係作りを行っている。病院での情報は職員に報告し、退院後の支援に反映させている。退院後は訪問診療の診察を行い、入院中の情報共有を行っている。		☒ A. 充分にできている 10 ☐ B. ほぼできている 2 ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない ☐ E. 未回答	・入院中も病院と連携を取り合い、退院後の支援がスムーズに行えるように対応が出来ていると思う。 ・一連のプロセスと情報共有が出来ている。 ・細やかな対応が出来ていると思う。 ・取り組みの継続をお願いします。 ・これまでの施設職員の情報の共有連携からみると充分に出来ていると思います。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	重度化や終末期の対応については、ケアマネジャーが家族に早い段階から施設で出来ることの説明を十分に行い、話し合い、意向を確認しています。主治医や職員、看護師の意見を取り入れ介護計画書の変更や看取り介護計画書の作成を行いチームで支援に取り組んでいる。		☒ A. 充分にできている 10 ☐ B. ほぼできている 2 ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない ☐ E. 未回答	・早い段階から十分な説明があり、ご家族も安心して施設へお願い出来ると思う。 ・一連のプロセスと情報共有が出来ている。 ・終末期の対応として、家族の意向を確認し、支援に取り込むことが出来ています。 ・細やかな対応が出来ていると思う。 ・取り組みの継続をお願いします。 ・以前看取りの研修をした旨の報告があった。また看取りの実績もある。引き続き丁寧な対応を希望する。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	急変時における手順、救命救急の流れ、誤薬や転倒時の対応のマニュアル、応急手当のテキストがフロア内に置いてありすぐに対応出来る様になっている。普通救命救急講習も行い、AEDの使用方法を学んでいたが、コロナ禍で行なえていない。AEDは事務所に設置してある。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年に2回は避難訓練を実施している。職員が水消火器を使って火を消す練習をしている。運営推進会議で平井町の自治会や地域包括と協力体制を話している。	年に2回は避難訓練を実施し、職員が迅速に行動出来るようにしておく。運営推進会議で平井町の自治会や地域包括と協力体制について定期的に確認していく。 実際の災害時に迅速な対応が出来るような手順等を検討していく。	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている 3 ☒ C. あまりできていない 5 ☐ D. ほとんどできていない 4 ☐ E. 未回答	・年に2回は実施している。今後に期待したい ・自治会等との連携を深め、協力体制を築いて欲しい。 ・火災時の消火訓練等、自治会との協力体制が築けています。 ・水害の時にグループホームは水害に合った心配でした。連絡下さると安心します。 ・災害対応マニュアルの有無が分からないが、職員間で共有し連携して対応して欲しい。 ・災害は起きてもおかしくない様な状況なので、訓練は入念に行なって欲しい。